

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 本号の特集テーマは心アミロイドーシスで、近年循環器領域では大変注目されている疾患です。従来希少疾患と考えられていたところ、心肥大を伴う心不全、手根管症候群、大動脈弁狭窄症などに合併して潜在し、予想外に罹患頻度が高いことがわかってきました。この疾患の3年生存率が約5割で、予後改善効果が現れるのが治療開始後約1年半と報告されています。早期に診断して介入する必要がある、正確に診断することの重要性が示唆されています。本特集は心アミロイドーシスの疾患概念、診断から治療までの概要をすばやく理解するのに最適です。

▶ ATTR 心アミロイドーシス（トランスサイレチン関連心アミロイドーシス）の疾患特異的な治療薬で最初に実用化されたものがファイザー社のタファミズメグルミン（ピンダケル®）です。前述のように、このATTR 心アミロイドーシスは希少疾患を想定していたところ common disease であったとのことで、ファイザー社としてはある意味嬉しい誤算だったと思います。ファイザー社といえば世界中で使用されているCOVID-19ワクチンが思い浮かびますが、ファイザー社の今年度の売上高が日本円で11兆円を超えると予想されており、昨年度の決算でいうと純利益が約2兆5,000億円とのことです。このうち新型コロナウイルスのワクチンと飲み薬が6兆円強で半分以上です。11兆円といってもピンとこないと思いますが、日本の国家的なプロジェクトである（実際はJR東海が費用を全額負担していますが）リニア中央新幹線の総工費が10兆円強で、1企業の年間の売上高がこれを上回っているわけですから驚異的です。ちなみにトヨタ自動車の2021年度の売上高は約31兆円で、上には上があります。よく“お金は寂しがり”といいますが、お金は孤独になるのが嫌いなのでみんなが集まろうとする、つまりお金があるところにはさらにお金が集まってくるということを意味しています。お金の話になってしまい恐縮ですが、私もその通りだと思います。

橋本 順

「臨床放射線」第67巻 第6号

2022年6月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。